

経皮的動脈形成術(腎障害合併)を受けられる

説明医師

様へ (4日間入院)

看護師

【病名：】病棟

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日	当日(治療前)	当日(治療後)	治療後1日目
目標	治療のための準備ができる 不安なく治療が受けられる		胸痛がない 穿刺部位に出血、発赤、腫れがない	38度以上の発熱がない 安静が守れる
検査			血液検査と心電図検査を行います  	心電図検査を行います 
食事	制限ありません	治療の開始時間により 延食になります(朝・昼) 水分の制限はありません	治療後より飲食可能です	制限ありません
処置・観察	体温、脈拍、血圧を測ります  毛剃りを行います	早朝、治療前に体温、脈拍、血圧を測ります  尿管を入れます  午前・午後 ——時から治療が始まります ネームバンドに氏名を書いて足首につけます	体温、脈拍、血圧を1-2時間ごとに測ります  心電図モニターを装着します 足の付け根の管を抜きます 出血を予防するための止血帯をします	体温、脈拍、血圧を測ります  心電図モニターを装着します 朝に穿刺部位の確認をします 止血帯を外します 尿管を抜きます
注射・内服	常用薬を持参し看護師にお渡しください 昼食後と夕食後に腎保護剤を服用します  午後6時頃より点滴が開始となり治療後まで続きます  就寝前に眠剤を服用します	普段のお薬は、治療前日の指示に従って服用します 朝、腎保護剤を服用します 治療に行く前に安定剤を内服します 	点滴がついたまま病室に帰ります 点滴は12時間続きます 点滴終了後も管は抜かずに残します  入室後に腎保護剤を服用します 	点滴の管を抜きます 容態により退院後のお薬が出ます 
行動	制限ありません  点滴までに入浴、洗髪をします  	治療前にトイレを済ませ化粧をとり入れ歯、時計、アクセサリ、眼鏡を外します  検査着に着替えます  車椅子で治療室に行きます 	治療した側の足は曲げないでください  翌朝まで絶対安静になります  足の付け根の管を抜いた後、医師の指示で介助のもと体の向きを変えることができます	看護師が体を拭き、着替えをお手伝いします  穿刺部位の確認後、トイレまで歩けます 
説明	医師より説明 入院後の検査や治療計画について  看護師より説明 治療前後の処置や安静について  栄養士より説明 食事の栄養相談  薬剤師より説明 薬について 	点滴をしながら生活する事になります 不都合な事があれば担当看護師に連絡して下さい	医師より説明 治療結果と今後の治療計画について(治療当日または翌日)  看護師より説明 治療後の安静について 	看護師より説明 退院後の療養について 

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

上記説明を受けました
平成 年 月 日 (本人・家族)

05-170-4

2006.08.01 版

京都第一赤十字病院